

X I 総合看護研究施設

1 位置づけ

本研究施設は、1991年4月1日に設立された。設立の目的は、建学の精神に則り、看護の分野に関連する諸科学を科学的、技術的、総合的に研究し、看護の発展に寄与貢献することである。

(1) 看護の基礎的検討

看護のユニフィケーションをめざして、看護教育と臨床医学の連携について分析し、総合看護の実践にふさわしい教育施設としていく。

(2) 看護教育に関する研究

- ① カリキュラムの研究
- ② 看護教育制度と方法に関する研究
- ③ 教育評価の測定に関する研究

(3) 看護における関連諸科学との総合研究

- ① 看護の質保障に関する研究
- ② 看護と医療経済に関する研究
- ③ 看護環境の動向（予測）に関する研究
- ④ 生命倫理からみた看護に関する研究

2 組織

構 成 員	
所 長	望月 好子 (准教授)
所 員	小川 景子 (准教授)、林 真理子 (准教授)、飯室 淳子 (講師)、 蔵本 文乃 (講師)、井上 茂夫 (事務室係長)

3 施設概況

総合看護研究施設（第15研究室）があり、総延べ面積は、施設面積約30m²である。主な設備は、コンピュータ（ノート型、インターネット利用可能）2台、カラーレーザープリンター1台、複合機プリンター1台、プロジェクタ2台、デジタルカメラ2台、ラミネーター1台、ビデオカメラ2台、ビデオカメラ用三脚2台、書画カメラ（実物投影機）1台・取り付け型電子黒板ユニット1セット、60型スクリーン1台である。図書・雑誌等は、図書館と連携し、図書館所蔵資料を活用している。

4 活動概要

この施設の目的は、本学の建学の精神にのっとり、看護の分野に関連する諸問題を科学的、技術的、総合的に研究し、看護の発展に寄与貢献することである。（東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設規定 第2条より）活動目標としては以下の内容があげられる。

- 1) 本学教員の看護研究活動推進に向け教員相互の研究的交流を支援する。
- 2) 本学の発展に向け本学教員が取り組むプロジェクト研究を支援する。
- 3) 臨床看護の充実・研究活動の推進に向けて地域の看護職を対象とした研究支援活動を実施する。
- 4) 地域発展への社会貢献として住民の健康支援活動を実施する。

- 5) 看護学教育および臨床看護の充実に向け本学教員の産出した研究成果を公表する機会として論文集を発刊する。
- 6) 所員相互の連携を図り、目標達成に向け本学教職員の協力を得ながら活動を推進する。
- 7) 活動内容を評価し、その成果・改善点を次年度の運営に役立つよう活動報告としてまとめる。

具体的な活動内容としては、今年度も引き続き、看護研究支援活動と地域貢献活動を実施した。

看護研究支援活動としては、本学教員のために、プロジェクト研究への支援を行った。これは、研究施設に応募のあったプロジェクト研究に対して、「プロジェクト研究に関する取決め」に基づき審査を行い助成金を給付するものである。また、2011 年度より発足した「研究をともに学ぶ会」を開催した。これは、各教員の研究力向上をめざし研究懇話会として、月一回を目安に総合看護研究施設が企画・運営を担当しており、今年度は7回開催した。

地域貢献活動としては、地域の看護職への支援と地域住民への健康支援に関わる活動を実施した。

地域の看護職への支援は、地域の中規模病院に勤務する看護職の研究力向上をめざし、公開講座の開催および研究指導であるが、特に公開講座は、エクセルを用いた統計処理・分析の講座として2005年度から開催しており好評を得て毎年開催している。例年応募者が多く、短い期間で募集締切となる人気の講座となっており、今年度も受講者から良い評価を得た。また研究指導は、病院・施設等に勤務する看護職者を対象に、受講者が設定した年度内の研究目標達成に向け指導を行い、研究者の主体的な研究活動を支援した。

一方地域住民への健康支援としては、地域住民に向けた公開講座を開催した。例年、参加者の平均年齢は高いため、中高齢者の健康ニーズに合ったテーマを選定し実施している。昨年度に引き続き、近隣3市（平塚市、秦野市、伊勢原市）の広報誌掲載依頼、地域施設等へのポスター・チラシの配布に加え、フリーペーパーへの広告掲載（有料）、近隣自治会へのチラシ配布などを行い広報活動の充実に努めた。これらの広報活動の効果として、多くの地域住民の参加が得られ、地域住民への健康生活啓蒙活動に関する地域住民の認知度向上・健康支援活動の推進に貢献できたものとする。

東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集発刊については、2013年3月末日に発刊をめざし、論文の募集・査読依頼等を行った。論文の掲載可否は査読結果を踏まえ本施設編集委員会にて審議し、最終決定は本学総合研究機構運営委員である灰田学長が行う。今年度は、論文3題、報告1題の計4題が投稿受理され、発刊の運びとなった。

最後に施設物品については、今年度デジタルカメラ1台、ノート型パソコン1台、複合機プリンター1台を購入した。また、総合看護研究施設研究室(第15研究室)のエアコンおよびカーテンを交換し、より快適な環境を整えることができた。

次に、主な実施概要を示す。

1) 委員会開催状況

回	開催日	議 題
1	4月5日(木) 15:00~17:20	① 報告事項 2011年度からの申し送り事項について ② 総合看護研究施設規程による本委員会の位置づけの確認 ③ 活動目標、年間活動計画、役割分担 ④ プロジェクト研究(継続2年目)について
2	4月27日(木) 17:00~19:15	① 2012年度 活動計画について ② 2011年度 決算報告 ③ 会議日程の確認 ④ その他

3	5月24日(木) 10:30~11:20	① 予算の配算について ② 各担当からの進捗状況報告
4	6月13日(水) 13:30~14:20	① 各活動の進捗状況報告 ・看護研究を支援する活動 ・研究をともに学ぶ会 ・公開講座B ・公開講座A ・プロジェクト研究
5	7月31日(火) 15:30~17:00	① 各活動の進捗状況報告 ・看護研究を支援する活動 ・研究をともに学ぶ会 ・公開講座B ・公開講座A ・プロジェクト研究 ② 2013年度予算案について
公開講座B 実行委員会	8月31日(金) 15:00~16:30	9月1日(土)公開講座 会場準備と打ち合わせ
6	9月6日(木) 15:10~17:20	① 各活動の進捗状況報告 ・看護研究を支援する活動 ・研究をともに学ぶ会 ・公開講座A ・プロジェクト研究 ② 公開講座B 結果と評価
公開講座A 実行委員会	10月19日(金) 17:00~18:00	10月20日(土)公開講座 会場準備と打ち合わせ
7	10月24日(水) 15:15~16:15	① 各活動の進捗状況報告 ・看護研究を支援する活動 ・研究をともに学ぶ会 ・プロジェクト研究 ② 公開講座A 結果と評価
8	1月30日(水) 10:00~11:00	① 各活動の進捗状況報告 ・看護研究を支援する活動 ・研究をともに学ぶ会 ・プロジェクト研究 ・論文集
第1回編集 委員会	1月22日(火) 13:30~15:00	① 査読結果の確認と編集委員会からのコメントの必要性の検討 ② 論文集の編集方針について ③ 今後のスケジュールの確認・検討
第2回編集 委員会	2月22日(金) 13:30~15:00	① 投稿原稿 査読等の進捗状況について ② 掲載順序の決定 ③ 今後のスケジュールの確認・検討
9	3月19日(火) 10:00~11:30	① 年間活動総括 ② 予算執行報告について ③ 次年度への引き継ぎ事項等 ④ その他 次年度の会議日程

2) 公開講座

(1) 看護職者対象

月日／会場	テーマ	参加者数	担当者
9月1日／東海大学12号館3階305コンピュータ室	エクセルで統計処理 ーエクセルを用いた統計講座『入門編』 ー 講師：松木 秀明先生 (東海大学健康科学部教授)	32名	望月 好子・小川 景子・ 丹澤 洋子・林 真理子・ 湊田 明子(准教授)、 阿部ケエ子・蔵本 文乃 (講師)、岩屋 裕美・ 後藤 雪絵(助教)、 井上 茂夫(事務室係長) 以上10名

(2) 地域住民対象

月日／会場	テーマ	参加者数	担当者
10月20日／東海大学医療技術短期大学講堂	めざそう！脳活性 第1部： 講演「わかりやすい脳活性の話」 講師：灰田 宗孝先生(本学学長・教授) 第2部：実践編 「いつまでも美味しく食べるために」 ミニ講義とデモンストレーション 担当：飯室 淳子先生(本学講師)	68名	望月 好子・小川 景子・ 林真理子(准教授)、 飯室 淳子・蔵本 文乃・ 橘田 節子(講師)、 坂本 優子(助教)、 井上 茂夫(事務室係長) 以上8名

3) 研究支援

(1) プロジェクト研究

A 申請(採択)状況

番号	研究代表者	研究分担者	テーマ(研究課題)	研究申請期間
12-01	中田 芳子	新村 直子 後藤 雪絵	訪問看護ステーション実習における実習指導者の現状	2012年度～ 2013年度
12-02	望月 好子	吉田 礼子 丹澤 洋子 林 真理子 湊田 明子 千葉 美果	看護技術教育における効果的な自己学習支援システムの構築と評価	2012年度～ 2013年度

B 研究成果（論文・学会発表など）

テーマ	研究者	掲載誌・発表学会（開催地）[巻(号)、頁、年.月]	研究申請期間
成人看護学領域のテキストにみる喫煙や禁煙に関する記述の実態	中田 芳子 後藤 雪絵	第6回日本禁煙学会学術総会抄録集、72、2012	2010年度～ 2011年度
高等学校における健康教育への支援に関する研究 －高等学校保健教育担当教諭の意識調査から－	望月 好子 石田 貞子 小川 景子 橘田 節子	東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集、22号、27-36	2010年度～ 2011年度

(2) 看護研究を支援する活動

神奈川県内 100 床以上の病院および東海大学医学部附属 4 病院に勤務する看護職者を支援対象として支援希望者およびグループを募集した。2012 年度は、13 件の応募があり、11 件の研究を支援した。研究支援期間は、2012 年 7 月から 2012 年 2 月までであり、1 回 1 時間程度の面接指導を本学総合看護研究施設において実施した。

研究支援を担当した教員は次の 11 名である。中田 芳子、中谷 啓子、小川 景子、瀧澤 直子、新村 直子、林 真理子、望月 好子、吉野 由美子、飯室 淳子、蔵本 文乃、千葉 美果。

(3) 「研究をともに学ぶ会」

今年度は、年度初めに日程をあらかじめ決定し教員全員に通知した。その上で発表者を募集し、開催予定 1 週間前までに発表のアプライがない場合には、中止とした。日程および時間の設定は、総合看護研究施設所員会議のある日の夕方とし、1 回 1 時間程度で 7 回開催した。対象者は学内教員であり、参加は任意である。

3) 論文集の発行

2013 年 3 月 28 日、「東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集 第 22 号 2012 年度」を発行。論文 3 題、報告 1 題の計 4 題が投稿受理され、発刊の運びとなった。